

第10回 定例評議員会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時 : 平成16年5月29日(土) 午前10:00~12:00
2. 場 所 : かながわ県民センター (横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2)
3. 評議員出席状況 : 評議員現在数 : 50名
出席評議員数 : 34名
委任評議員数 : 11名
欠席評議員数 : 5名 (出欠表添付)
4. 出席理事 : (副会長) 古郡 敬一、廣瀬 稔、野地 澄雄
(専務理事) 山田 隆
(常務理事) 片 忠夫、渡辺 三郎、菊地 富士夫、越前谷 芳隆
(理事) 早川 博基、柴田 秀一、上田 英之、百海 廷、本田 衛義、徳本 進、
(理事) 長久保 巖、斎藤 幸雄、岡本 洋一、木村 徳善、菊地 勇二、清水 忠、
(理事) 栗田 謙悟、平沢 幸一
欠席理事 : (会長) 河野 洋平、(理事) 本宮 敏宏、堀 祐樹
5. 出席監事 (監事) 井駒 利一
欠席監事 (監事) 徳田 盾夫
6. 出席顧問・参与 : (顧問) 片岡 春夫、小林 幹夫 (参与) 小島 祐嘉
7. 議長選出 : 松永 宗嗣評議員(藤沢スキー協会)を選出。
8. 議事録署名人 : 神谷 明宏評議員(横浜スキー協会)、村山 政幸評議員(横浜スキー協会)を選出。
9. 書記 : 徳本 進理事、守谷 紀幸広報委員を指名。

10. 配布資料

第10回評議員会資料(事前配布)

次期役員体制

11. 議 事

1) 報告事項

(1) 山田 隆専務理事から、平成15年度(SAJ16年度)の一般経過について報告がなされた。

(2) 質疑応答

松浦 哲也評議員(小田原)から、年度途中での大幅な財政難について質問があり、山田 隆専務理事から、1月に開催したスノーボードクロス大会に予定したスポンサー料収入が入らず、そのために赤字分を減らす努力をしたとの答弁がされた。

鈴木 克美評議員(横浜)から、12月の車山研修会の開催日程変更についての質問があり、山田 隆専務理事より、会場変更理由に不適切な発言があったとすれば大変申し訳なく、またスキー場も色々な経済効果を考慮してのことあるので、会員の皆様には出来るだけ迷惑をかけないよう日程調整していくことの答弁がされた。

2) 審議事項

(1) 第1号議案

平成16年度(SAJ17年度)執行方針(案)について

片 忠夫常務理事から、平成16年度(SAJ17年度)執行方針(案)について、評議員会資料の2ページ-2の提案がされた。

平成16年度(SAJ17年度)総務本部方針(案)について

上田 英之理事から、平成16年度(SAJ17年度)総務本部方針(案)について、評議員会資料の3ページ-2の提案がされた。

平成16年度(SAJ17年度)教育本部方針(案)について

渡辺 三郎常務理事から、平成16年度(SAJ17年度)教育本部方針(案)について、評議員会資料の4ページ-2から7ページ-2までの提案がされた。

平成16年度(SAJ17年度)競技本部方針(案)について

菊地 富士夫常務理事から、平成16年度(S A J 17年度)競技本部方針(案)について、評議員会資料の8ページから9ページまでの提案がされた。

・質疑応答

事業計画(案)について

八尾 勉評議員(川崎)から、事業費の科目について 備考欄詳細についての質問があり、上田理事より、協賛金を前提として行事が成り立っていることでセットにしていること。

備考欄の数字は記載ミスであることの答弁がされた。

このあと議長より、第1号議案について承認を得たい旨諮ったところ、満場一致で承認された。

(2) 第2号議案

平成16年度(S A J 17年度)予算(案)について

岡本 洋一理事から、平成16年度(S A J 17年度)予算(案)について、評議員会資料10～15ページまでの提案がされた。

・質疑応答

競技本部の予算について

小室 静雄評議員(小田原)から、会員減少による予算編成について質問があり、山田 隆専務理事から、新執行部としてブロック毎の大会運営の開催等より活性化していくための財源確保と、各協会との連携を取りながら努力していく旨の答弁がされた。

予算(案)について

松浦 哲也評議員(小田原)から、スノーボード行事の収支欄確認について、16年度のスノーボード予算編成についての質問があり、

菊地 富士夫競技本部長から、収支欄の説明が行なわれた。スノーボード予算について昨年はF I Sと県選手権の2本立てで計画したが、県選手権は中止となった。今年度はF I S大会のみを予定しているとの答弁がされた。

予算(案)について

鈴木 正儀評議員(川崎)から、競技力向上対策事業の収支について、補助金申請の決定についての質問があり、

上田 英之理事から、競技力向上対策事業について、収入は特別会計に入り、補助金で収入計上して、補助金と負担金で行事運営しますとの説明がなされた。補助金については、山田 隆専務理事より、補助金に対しての決定はまだいただいてません。補助金が出ることを前提に行事計画しており、万が一おられない場合は、事業の縮小または他の事業を遣り繰りして最低やらなければいけない所は努めていくとの答弁がされた。

このあと議長より、第2号議案について承認を得たい旨諮ったところ、満場一致で承認された。

(3) 第3号議案

次期役員選出について

(財)神奈川県スキー連盟規約・規程に基き開催され、役員候補選出委員会によって選出された新役員候補者名簿(評議員会資料の16ページ)に基き、片 忠夫常務理事から次期役員選任の提案があった。名簿は次の通り。

理事：河野 洋平、古郡 敬一、野地 澄雄、山田 隆、片 忠夫、三塚 康雄

：越前谷 芳隆、上田 英之、渡辺 三郎、菊地 富士夫、柴田 秀一、本田 衛義、

：徳本 進、長久保 巖、佐々木 生道、阿久津 光代、木村 徳善、百海 廷、

：栗田 謙悟、平沢 幸一、吉岡 去私

監事：井駒 利一、木村 信吉

この新役員候補者名簿に基き、この提案について議長より承認を得たい旨諮ったところ満場一致で承認された。

ここで一時休憩を取り、新役員での理事会を開催、役員体制について決めた。

(4) 第4号議案

次期役員体制について

片 忠夫常務理事から、理事会で選出された会長推薦理事4名を含め、理事の互選により次期役員体制を決めたので提案する。(* 印：会長推薦理事)

会 長：河野 洋平

副会長：古郡 敬一、野地 澄雄、山田 隆
専務理事：片 忠夫
常務理事：三塚 康雄
総務本部長：上田 英之、事務局長：越前谷 芳隆
理事：本田 衛義、柴田 秀一、徳本 進、長久保 巖、佐々木 生道、*岡本 洋一
阿久津 光代
教育本部長：渡辺 三郎
理事：木村 徳善、百海 廷、*菊地 勇二、*清水 忠
競技本部長：菊地 富士夫
理事：栗田 謙悟、平沢 幸一、*斉藤 幸雄、吉岡 去私
監事：井駒 利一、木村 信吉

・ 質疑応答

役員名称について

梶 一成評議員(川崎)から、体制表のセクレタリ - の扱いについての質問があり、山田 隆専務理事より、セクレタリーとはマネージャー的なことをする。上田総務本部長は S A J 専門委員であるので兼務しているとの答弁がされた。

このあと 議長より、第 4 号議案について承認を得たい旨諮ったところ、満場一致で承認された。

(5) 第 5 号議案

顧問就任の承認について

山田 隆副会長より、廣瀬 稔前副会長の顧問就任の提案をし、議長より承認を得たい旨諮ったところ満場一致で承認された。

(6) その他

S A K 役員の任期について

片 忠夫専務理事より、役員の任期について今年から教育長の指導を踏まえて、6月1日から新しい役員の任期(7月末登記を6月初登記)となります。従いまして、前期の理事の任期は2ヶ月短くなることを了解いただきたいとの提案がなされ、承認された。

S A J 理事の推薦について

八尾 勉評議員(川崎)から、S A J 理事の推薦及び推薦する規約についての質問があり、山田 隆副会長より、S A J 理事の推薦は県連理事会にて推薦している。S A J 佐々木理事の6期12年は異例の長期就任となったが、トリノオリンピックまでとの本人意向なので今期が最後という事、そして、来期以降については県連の規約に合わせる検討をしていく旨の答弁がされた。

S A K 専門委員の会合について

井上 敏郎評議員(厚木)から、教育本部の専門委員より会合開催について質問があり、片 忠夫専務理事より、専門委員会別に会議をしてから行事に望むようにしているが、今後はきちっと対応していく旨の答弁がされた。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成16年6月4日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印